

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

実習企業・機関	秋山鉄工株式会社
実習期間	平成 30 年 3 月 11 日 ～ 平成 30 年 3 月 17 日
学生氏名	小林千尋
実習プログラム	<p>社長インターンシップとして取り組んだこと</p> <p>3/11(日) 目標「社長宅で礼儀正しく、名前を覚える」 主な実習内容 夕食準備</p> <p>3/12(月) 「職場になじむ、大きな声であいさつ」 ・職場&amp;全体朝礼、ラジオ体操 ・挨拶、朝礼特訓 by 秋山滋さん ・商談同席 ・工場見学</p> <p>3/13(火) 「忘れ物ゼロ、大きな声であいさつ」 ・秋山社長による歴史秘話ヒストリー(歴史講座) ・ラジオ体操特訓 by 秋山滋さん ・電話対応特訓 by 秋山桂子さん+お姉さま方 ・保育園増設の打ち合わせ in 鶴岡市役所に同席</p> <p>3/14(水) 「もっと大きな声であいさつ」 ・パワーポイント学習 by 秋山社長 ・パワーポイント作成 //</p> <p>・庄内地域ニーズ対応型技術マッチングに同席 ・山形県大石田町 横丁とうふ店の五十嵐智志様のお話を聞く</p> <p>3/15(木) 「早起き」 ・モーニングセミナー in 鶴岡 AM6:00 ・発表の器材チェック ・小千谷で歴史散策 ・ナイトセミナー in 小千谷</p> <p>3/16(金) 「最終日をキッチリ締める」 ・モーニングセミナー in 小千谷 AM6:00 ・ウェス(油を拭く布)の作成 ・まとめ作業</p> <p>3/17(土) おまけ ・道形保育園の卒園式に同席</p> <p>3/28(水)～4/11(水) 番外編 ・会社(交通安全)の看板製作</p>

学び・気づき

社長インターンということで、私は実習前から、「熟練の秘書のように」や「誰がどのように見ても秘書にしか見えないと思われるように動く」を意識していた。だから、言われたことをただやるのではなく、言われない・察して即刻実行を心がけた。例えば、倫理法人会での社長講演の際に、社長が講演に集中できるよう、社長の自前器材の準備を率先して行った。

書き切れないほどたくさんの体験をしたので、その中でも3つを「マイエピソード of ベスト3 in 秋山鉄工」として記したいと思う。

・第一位は…『倫理法人会でのセミナーin 鶴岡&小千谷』

3/15(木)から3/16(金)の2日間にかけて行われたセミナー。最初はどのようなセミナーで誰が来るのかというのが全く分からなかった。しかし、集まった方々と名刺を交換してとてもびっくり仰天した。様々な業種の企業の代表の方ばかりで、身が縮む思いだった。そのセミナーの中で、私の自己紹介を、前日にパワーポイントで作成した自己紹介スライドを通して、行った。しかも、鶴岡で朝1回、小千谷で朝夕1回ずつの、全3回全てで行ったのだ。このことは、もう二度と経験できないことだと思うので、私にとって「一生の思い出」となった。それに様々な工業関係の方や、企業の代表の方にお目にかかり、お話しすることができて本当に良かった。

例えば、鶴岡でのセミナーでお会いした、一般社団法人倫理研究所の名誉研究員宇都進一郎様には、「何事も人生経験の一つ、固くなりすぎずに胸を張って頑張りなさい」とお言葉をいただいた。この時、一発目の自己紹介を終え、秋山社長から少し厳しいご指摘を受けていたのと、次の小千谷市でのセミナーを見据え、かなり不安になっていたところだ。だから、このお言葉は私の救いになったし、背中を押された。もし、またお会いする機会があるなら、改めてお礼を申し上げたい。

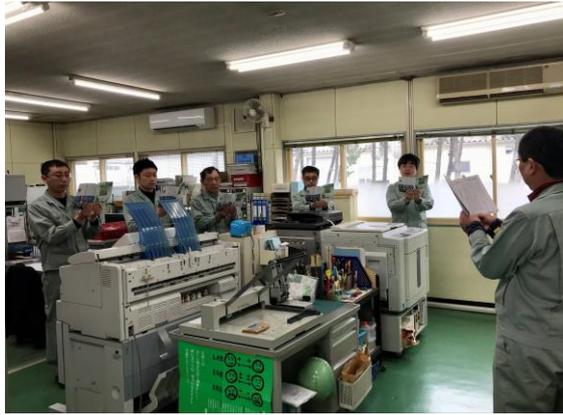
小千谷市のセミナーでお会いした、株式会社林屋紙器の風間尚夫様には、セミナーの前に戊辰戦争の史跡を巡ったという話をした。そうしたら、「今年は戊辰戦争150年の節目の年です」ということや、戊辰戦争についてもっと詳しく教えていただいた。さらに、後日『小千谷の戊辰戦争』という書籍まで送っていただいた。とてもありがたいことで、今その書籍は私の愛読書になっている。他にも様々な方と、様々な話をした。人とつながることはとても尊いことで、大切にしたいと思った。

・第二位は…『あいさつ・朝礼&ラジオ体操特訓』

3/12(月)にあいさつと朝礼の特訓、3/13(火)にラジオ体操の特訓があった。しかし特訓の前に、初日の一回目から、これらの実習があった。だから本当にどうしたら良いのかわからなくて、混乱していたのを今でも鮮明に覚えている。特にラジオ体操は、工場の方全員が息を揃え、まるでダンサー集団のようにキビキビ

	<p>動いていた。けれども、秋山社長の次男の秋山滋様が、どちらも一から丁寧に指導くださった。おかげで、一通りできるようになった。</p> <p>一つの製品を造り上げる中で、団結や強調というのは欠けては絶対にいけないものである。だから、あいさつやラジオ体操を通して志を共にする者が、息を揃える感覚を養っているのだろうと自己解釈した。</p> <p>・第三位は…『名刺が全く足りない!』</p> <p>社長インターンを選択しても、あらかじめ用意した名刺がなくなることはまずないと思う。用意していたのは20枚だが、足りなくなった。急遽、事務所の秋山あや子様に作っていただき、数えたら約50枚位交換していた。しかもほぼ企業の代表の方だった。偶然だが、社長の会合やセミナーなどが多くあったからで、これは、奇跡だろう。この体験を通して、社長の人脈の広さを、身をもって知ることができたし、社長の仕事は人と会うことであるのだと思った。会社、企業も人と人とのつながりで成り立っているのだと改めて実感した。</p> <p>これらのことを通して、毎日が新しいことや珍しいことの連続で、ある意味において私の記念日となった。</p>
<p>今後に向けた 抱負</p>	<p>まず、とても貴重で尊い体験をたくさんできて楽しかった。この短期間で得るものも多かったし、自分自身が大いに成長できたと思う。この7日間で、人と人の縁やつながり、温かさを学ぶことができた。</p> <p>課題・反省としては、ある時、事務所にお客様(宅配員)が来て私と社長しかいなかった。社長は「まず対応しなさい」と言われ、オドオドしながら対応をしてしまう、ということがあった。お客様が帰った後に、「実習生だとしても、お客様には社員にしか見えない」や「こういった些細なことが大きなトラブルになるし、信用にも関わってくる」と言われ、私が制服を身につけている意味を改めて実感した。それは4日目の出来事で、慣れもあり私自身の気の緩みを反省した。</p> <p>ラジオ体操や挨拶を通して、協調性を養うことはとても大事なことだ。私これから社会人になっていく上で、大いに生きていこう。これから挫折や壁に当たった時は、秋山鉄工株式会社様で学んだことや、楽しかったことを思い出して頑張りたい。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力</p>	<p>秋山鉄工株式会社様は、社長を筆頭に個性豊かな人が多くいらっしゃる職場だった。職員一人ひとりがとても大事にされ、温かい会社なのだと感じた。職員の皆さま全員が、生き生きして輝いていた。</p> <p>社長は、とてもお話しが面白い。特に、講演などでの笑いを交えたスピーキングは、私自身も真似をしていきたいと思った。</p> <p>私は、中学校、高校、大学と「工業」または「ものづくり」というものとは全く無縁であった。しかし、今回のインターンシップを通して、初めて工業やものづくりの楽しさを知った。もっと早くに興味を示していたら、より強く楽しさを噛みしめることができただろうと思った。そして、何がしたいかわからないまま、就職活動を進めることも無かっただろう。</p>

写真



【職場朝礼の様子】



【モーニングセミナーでの私の発表】（ぼやけていてよく見えない）



【看板製作中】